

科目名	エアラインビジネス論	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			観光学科 □必修 ■選択 学科 □必修 □選択
英文表記	Airline Business	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年
ふりがな	よこた けいざぶろう	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
担当者名	横田 恵三郎	修得単位	2単位
授業のテーマ	航空会社の仕事とそれらを取り巻く様々な機能やルールについて基礎を学びます。		
授業概要	航空会社が一便一便の飛行機を安全に快適に飛ばすためにたくさんの人々(機能)が連携して責任をもって業務を遂行しています。法律や規制、国際的な枠組みもあります。それら全体の概観を掴むと共に基礎的な航空専門用語の内容等を学習します。		
到達目標	航空事業全般の歴史や仕組み、また個々の業務内容について基礎的な説明が出来るようになります。		
授業時間外の学習	復習テストは頻繁に行います。業界の特徴として英語を短くした表現(省略形)が多々登場するので、その意味を都度復習して覚えて下さい。		
履修条件	将来、航空業界に進みたいと思っている人は必ず履修してください。		
授業計画			
第1回	オリエンテーション、飛行機はなぜ空を飛ぶことができるのか		
第2回	エアラインビジネスとは何か 航空の歴史と変遷		
第3回	航空事業の基礎知識(航空法による定め) 復習テスト		
第4回	実務基礎編① 都市・空港コード、エアラインコード		
第5回	実務基礎編② 航空時刻表の見方、時差 復習テスト		
第6回	実務基礎編③ PNR、MCT 復習テスト		
第7回	空港①(空港整備の経緯)		
第8回	空港②(地方空港の活性化) 復習テスト		
第9回	航空機の運航と整備		
第10回	グラウンドスタッフの業務①(カスタムサービス) 復習テスト		
第11回	グラウンドスタッフの業務②(オペレーション) 復習テスト		
第12回	航空会社社員による特別講義		
第13回	航空会社の営業 CRS/GDS、IATA 代理店制度 復習テスト		
第14回	客室乗務員の業務、客室乗務員の養成		
第15回	航空事業の課題と展望		
第16回	定期試験		

テキスト	適宜関連するプリントや資料を配付します。
参考文献・資料	授業の中で紹介します。
成績評価の方法	定期試験 50%、授業態度・取組姿勢 50%とし総合評価します。
成績評価基準	<p>【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p> <p>【平成28年度(2016)以降に入学した学生】 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p> <p>※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。</p>
オフィスアワー	① 毎週火曜 午前中 ②毎週木曜 午前中
学生へのメッセージ	もし航空機が世の中になければ人・モノの流れが滞り、日本のみならず世界のここまでの発展は有り得なかったと容易に想像がつくと思います。グローバル化を支える航空事業の役割は引き続きその重要性を維持するでしょう。日本が2020年オリンピック・パラリンピックに向けてインバウンド4,000万人の目標を掲げる中、その殆どが航空機による輸送です。LCCも台頭してきています。地方空港にとって追い風環境にあります。まずはその航空や航空事業の基礎をしっかりと学びましょう。